

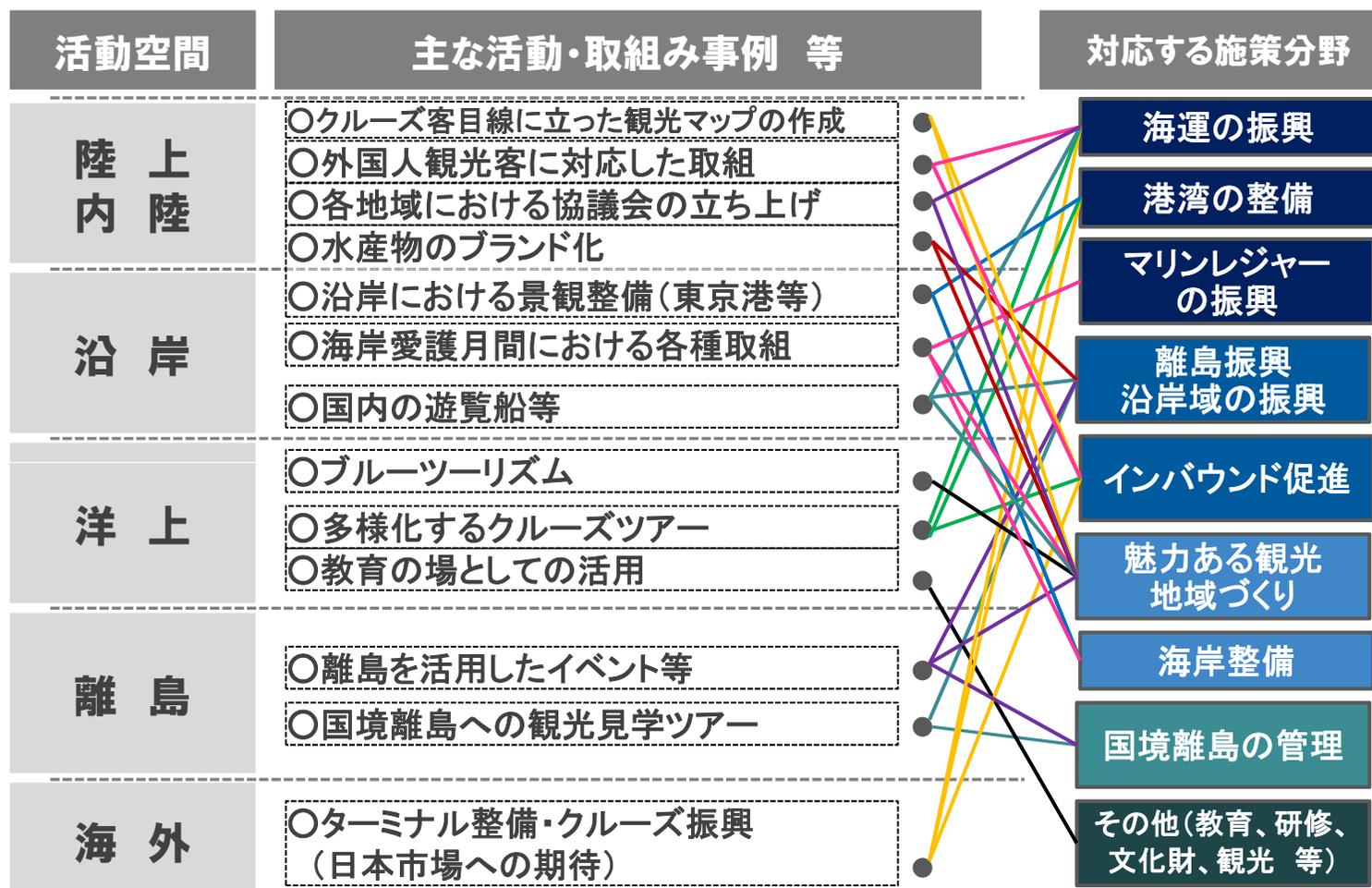
海洋観光の意義と施策体系(案)

平成26年1月27日

1. 海洋観光の意義と施策体系について

【施策体系検討の考え方】

- ・ 現状の海洋観光に関する様々な取組みや事例は、今後取り組むべき事項を考慮すると、対応する複数の施策分野にまたがっていることがわかる。
- ・ 施策分野横断的な取組を最大限発揮できるように、施策の意義を体系的に整理する必要があると思料。



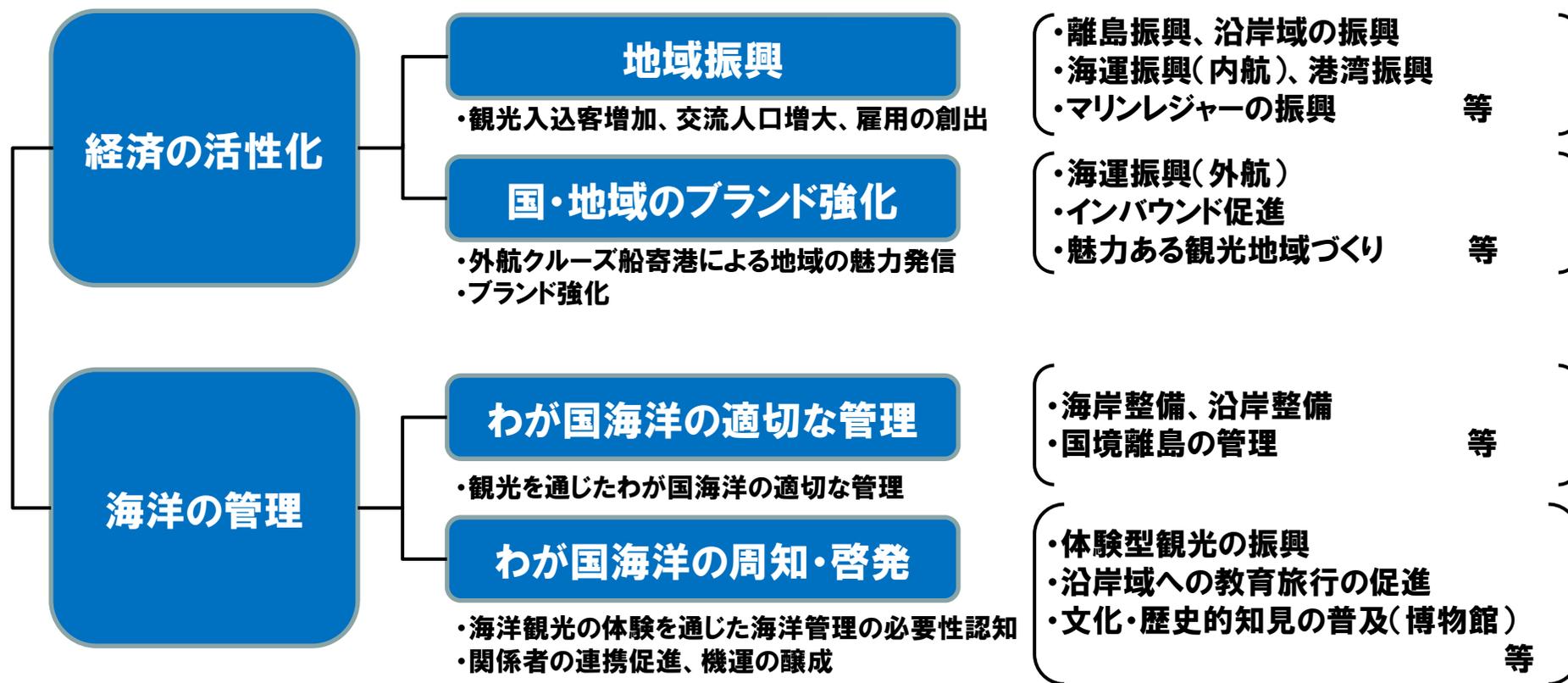
1. 海洋観光の意義と施策体系について

【海洋観光の施策体系(案)】

- ・ 海洋観光を、『海洋に関わる観光資源及び自然状況並びに海上交通を利用、活用する観光』と捉える。
- ・ 海洋観光振興の意義は、大きく「経済の活性化」と「海洋の管理」として整理できるのではないかな？
- ・ 関連する施策は、離島の振興、海運・港湾振興、インバウンド促進、魅力ある観光地域づくり、わが国海洋の適切な管理等、多様な分野に関わるため、総合的に取り組む必要がある。

【 海 洋 観 光 の 意 義 】

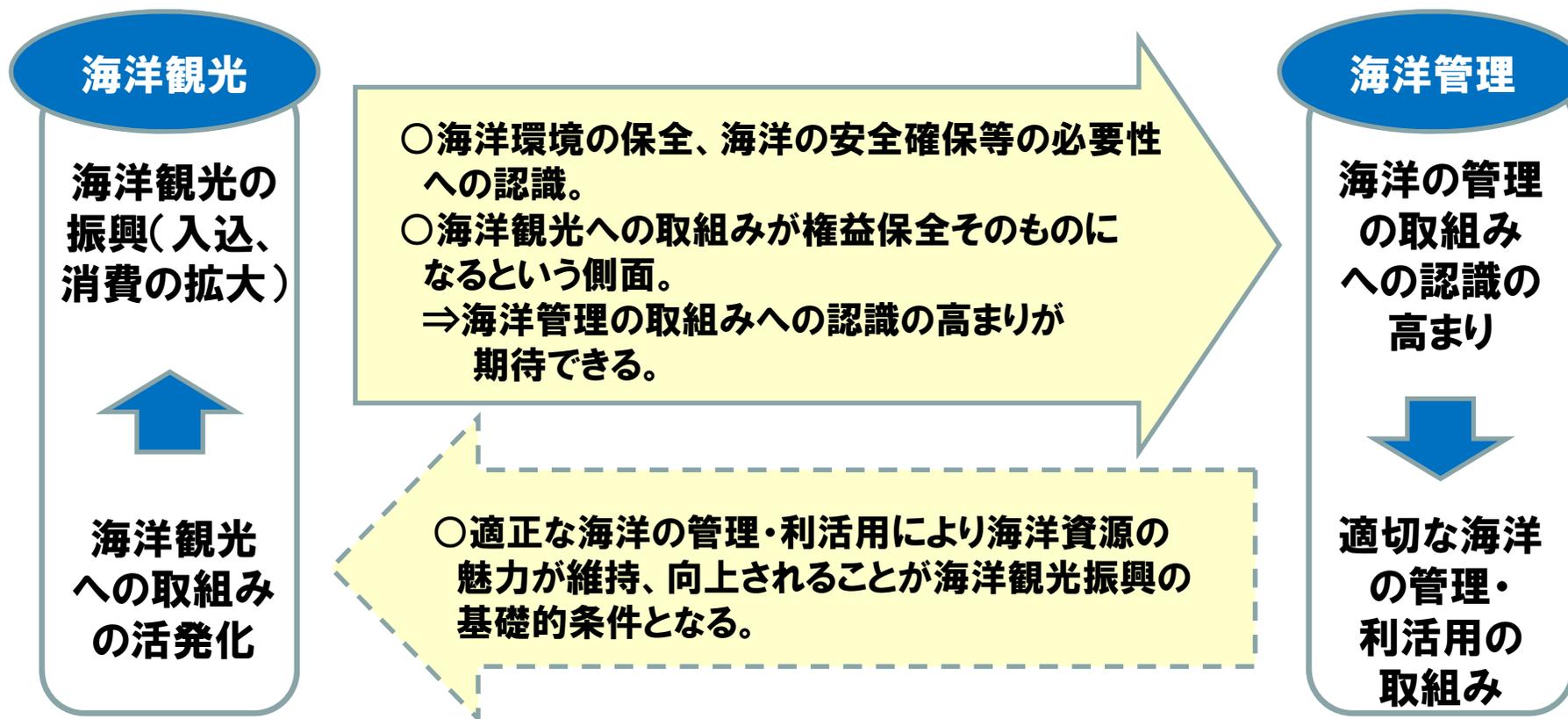
【海 洋 観 光 の 施 策 分 野】



2. 海洋観光と海洋管理の関係について

- ・ 地域における海洋観光を促進し、より多くの人に海洋資源に触れてもらうことが、地域振興に資すると同時に、適切な海洋管理・利活用の必要性の認知や、関係者の連携体制の構築、連携機運の醸成につながる。
- ・ 一方で、海洋資源の魅力の維持・向上のためには、海岸保全、景観・環境の保全、安全の確保など、適正な海洋管理が行われていることが重要である。

【海洋観光への取組みと海洋管理への取組みの関係】



3. 海外における海洋観光振興の位置づけ

・ 諸外国においても、「経済の活性化」及び「海洋管理」双方の観点から、「海洋観光」を推進しているところ。

| 国名 | 基本計画等 | 経済活性化の取組 | 海洋管理の取組 |
|--|--|---|--|
| EU  | <ul style="list-style-type: none"> ○統合的海洋政策(2007) ○Blue Growth(2012) | <ul style="list-style-type: none"> ○海洋・湾岸観光を推進 ○インフラ整備投資への戦略的アプローチ ○特別なスキルを持つ人材の育成 | <ul style="list-style-type: none"> ○沿岸域・海洋の保全 |
| イギリス  | <ul style="list-style-type: none"> ○海洋政策声明(2011) | <ul style="list-style-type: none"> ○海洋観光産業の競争力強化 | <ul style="list-style-type: none"> ○海洋観光振興のための健全な海洋環境の管理 |
| 中国  | <ul style="list-style-type: none"> ○全国海洋経済発展第12次5カ年計画(2013) | <ul style="list-style-type: none"> ○観光資源の計画的開発 ○観光漁業の発展 ○クルーズの振興 | <ul style="list-style-type: none"> ○無人島保護開発への投資促進 |
| 韓国  | <ul style="list-style-type: none"> ○第二次海洋水産発展基本計画(2011) | <ul style="list-style-type: none"> ○海洋レジャー活動の発掘・育成 ○海洋観光空間の造成・整備 ○海洋文化コンテンツの多様化 | <ul style="list-style-type: none"> ○海洋観光資源の保全・利用 |
| 【参考】日本  | <ul style="list-style-type: none"> ○海洋基本計画(2013) | <ul style="list-style-type: none"> ○海洋産業の振興及び国際競争力の強化 ○離島の振興 | <ul style="list-style-type: none"> ○海洋環境の保全等 ○EEZ等の保全・利用・開発等 ○沿岸域の総合的管理 |